

平成23年度

事業計画書

平成23年3月

財団法人 コンピュータ教育開発センター

1．ICT支援員養成に関する調査研究事業

学校教育において、児童生徒が一人一台の情報端末を利用することについての実証研究が行われており、その中でもICT支援員の重要性は認識されているが、具体的な資質や保有スキル、養成方法は不明確である。学校CIOを補佐し、教員のICT環境を整え、教員が安心してICTを利用できるようにするためにICT支援員の養成に関する調査研究を実施する。

平成23年度は、教育委員会や学校などICT支援員を雇用する立場で必要としているスキルの調査を実施すると共に、供給する立場の民間企業/NPO/ボランティアにスキル調査を実施する。

2．「ネット社会の歩き方」講師育成セミナー事業

平成20年度よりJKA事業として実施してきた「親子のためのネット社会の歩き方セミナー事業」を発展的に継承する事業である。

平成23年度から新学習指導要領が実施されることに伴い、全国の教員が学校や地域で自律的に情報モラル指導を展開できるようになることを目的とし、教育委員会の指導主事や校内研修担当の教員などを対象に講師育成セミナーを実施する。1地域50名、15地域、計750名の講師育成を予定している。

3．21世紀型コミュニケーション力育成事業

3年継続事業の3年目であり、昨年度までの成果として出版した「コミュニケーション力指導の手引」のカリキュラム・レベル表に準拠したテキスト・教材を開発するとともに、実証授業を実施、評価し、評価結果に基づきカリキュラム・レベル表を改訂する。

4．新たなコンクール事業

財団法人情報処理教育研修助成財団から引き継いだ「マイタウンマップ・コンクール」は平成22年度で終了し、平成23年度より新たなコンクールを実施する。

「学校・家庭・地域が元気。子どもも大人も夢と自信を」のコンセプトのもと、子どもを伸ばすために、子どもを元気にするために取組を行っている学校、地域、家庭の工夫を募集する。

5．平成23年度

「教育の情報化」推進フォーラム（CEC成果発表会）の開催

CEC事業の成果を発表するとともに、教育の情報化に係る最新動向の紹介を行い、教育現場の教職員、大学等の有識者、教育関連企業へ交流の場を提供するCEC成果発表会「教育の情報化」推進フォーラムを引き続き開催する。

以上